

会議録

- | | | |
|---|----------|----------------------------|
| 1 | 会議の名称 | 平成29年度第2回社会教育委員会議 |
| 2 | 開催日時 | 平成29年8月31日（木）午後7時00分～8時30分 |
| 3 | 開催場所 | 熊取交流センター（煉瓦館） 講義室A |
| 4 | 議 題 | 案件1 次期生涯学習推進計画について
その他 |
| 5 | 公開・非公開の別 | 全部公開 |
| 6 | 傍聴者数 | 0人 |

7 審議等の概要

○案件1について

- ・次期生涯学習推進計画について

これまでの取組みの流れから今後の策定の方向について、

自己評価、アンケート調査から出た課題等から計画骨子（案）を作成した内容について、事務局から説明を行いました。

【委員からの主な意見】

- ・障がい者への取組みも必要、健常者と融合してできることを考えるという方向で。
- ・これまでの機関別の施策を並べたものから、テーマ別の計画になるが、今までの良さが消されてしまうのではなく、大いに活かされてるように進めていただきたい。
- ・網羅型でいくのか、どこかに重点を置く、特徴をもたせるのかについて検討すること。
- ・30代の働き盛り、子育て中の方などが参加できるような、アイデア、知恵を出して計画に組み込んでいく。
- ・活動団体が多数あるので、団体同士を横につなげて、力を活かしていただくようなことも検討してはどうか。
- ・縦割りとならないように、横断的だというのはわかるが、各分野で見るとわかりに

くい。見やすいように何か工夫がほしい。

- ・現在活動していない人の掘り起こしをどうするか。現在活動中の団体の支援・振興と、掘り起こしをどうするかを政策の軸に謳えば良い。
- ・健康づくりが生涯学習なのか。町の総合計画の中で健康づくりが強調されて、体育、運動、スポーツ、健康づくりということが言われているが、次期生涯学習推進計画の中でそれがどう生きるのか。あるいは総合計画に特化したものなのか。そうであれば、縦を確認しながら、しっかり横をつなぐという何か良い活かし方があればと思う。
- ・学校の教育課程の中で、いろいろな団体の方に助けていただく部分が多くあるが、それ以外のところでも子どもたちに学ぶ機会をつくっていただくと、思い出となって次の学びにつながる。
- ・大学との連携においては、ソフトの連携の方が面白い。例えば、体育大学の陸上部に中学校で練習をしてもらうなど。
- ・施設活用については、意外性が必要ではないか。例えば、図書館でスポーツイベントをする、体育館で読書活動をする、子育て支援なら全ての施設でするなど、町全体でうまくちらばるように。
- ・スポーツにおいては、施設面の整備が大きい。生涯学習推進計画ではソフト面が主で、総合計画はハード面に寄っている感じを受ける。
- ・生涯学習施設の利用で、ほとんど利用したことがないという回答もあり、各小学校区に整備した拠点教室の活用も盛り込んでどうか。
- ・町民総合体育大会の例でいうと、30代、40代の方を参加してもらうのに、子どもを参加させ、その親を捕まえ、人材を見つける。そのような行事に出るようにサポートしていくことが大事。各団体にも協力を要請しながらうまく人材を活用していただければ良い。

など

○その他について

- ・次回会議の日程について、平成29年10月23日で調整しました。

8 会議の情報

名称	社会教育委員会議
根拠法令等	社会教育委員会議運営規則
設置期間	昭和57年4月1日～
所轄事項	教育委員会の社会教育に関する諮問に応じ、これに対して意見を述べること。
委員数	9人

9 担当課

生涯学習推進課